

新居浜市出身 十河信二と妻キクを主人公とした NHK朝ドラ誘致活動について



新居浜市中萩地区出身であり、第2代西条市長、第4代国鉄総裁を務めた、新幹線の生みの親である十河信二氏とその妻キクを主人公としたNHK連続テレビ小説の誘致活動を西条市とともに開始します！

開始にあたり、令和5月20日（土）に、西条市の四国鉄道文化館で「十河信二とその妻キクを主人公としたNHK朝ドラ誘致推進協議会」設立総会及び署名出発式が行われました。



新居浜市長と西条市長による署名



新幹線の生みの親

十河信二

夫と二人三脚

妻キク

両市が一体となり、愛媛県と連携をはかりながら誘致活動を展開することにより、NHK朝ドラの放映決定を実現させ、市民の郷土に対する愛着や市外での認知度・イメージの向上を図るとともに地域活性化を目指します！

国鉄総裁として「夢の超特急開通」の実現に尽力し、「新幹線の父」と呼ばれた十河信二氏をより多くの方に知ってもらい、好きになってもらいたい、そんな思いで署名活動に取り組みます。

「NHK朝ドラ」実現のため署名にご協力をお願いします！

※署名は、同封の署名ご協力のチラシの署名欄にご記入の上、FAX又は返信用封筒にてご送付いただくか、チラシのQRから電子署名をお願いいたします。

「NHK 朝ドラ」実現のため 署名にご協力ください

Hello!
NEW

新居浜

署名方法（署名内容は、 お名前とご住所です。）

- ①この用紙の裏側に署名し、公民館・交流センターなどに設置する回収ボックスへ、または、郵送やFAXで提出（裏側参照）
- ②右のQRを読み取り、入力フォームから署名



新居浜市出身

十河信二と妻キクの物語をNHK朝ドラに！



十河信二

新幹線の生みの親

妻キク

夫と二人三脚

新居浜市は西条市と連携し、NHK連続テレビ小説（朝ドラ）の放送実現に向けて誘致を進めています。

近代化の汽笛を響かせて、別子鉱山鉄道が走った明治の新居浜。新しい時代へと進むまち新居浜で生まれ、少年時代を過ごした十河信二さんは、大学進学後の東京で、函館出身のキクさんとお会いします。鉄道省就職、西条市長就任、71歳で国鉄総裁となり、東海道新幹線を走らせた雷オヤジ十河信二さんと、不器用ながらも時に夫を黙らせながら支え続けた妻・キクさんの物語の放映を目指します。



夢の超特急
東海道新幹線を実現！

十河信二 そごうしんじ

明治 17 年 新居郡中村（中萩地区）に生まれる
 明治 23 年 中村簡易小学校 入学
 明治 27 年 東新高等小学校 入学
 明治 31 年 西条中学 入学
 明治 35 年 第一高等学校 入学
 明治 38 年 東京帝大法学部入学
 キクと出会う
 明治 40 年春 祝言を挙げる
 昭和 20 年 西条市長に就任
 昭和 30 年 国鉄総裁に就任
 昭和 56 年 永眠 97 歳

十河キク そごうきく

明治 21 年 北海道函館市に生まれる
 明治 38 年 札幌の女学校卒業を待たずに東京の日本女学校に入学
 卒業後、東京音楽学校へ入学
 信二と出会う
 明治 40 年春 祝言を挙げる
 信二との人生が始まる
 昭和 33 年 永眠 71 歳

問合せ 十河信二と妻キクを主人公としたNHK朝ドラ誘致推進協議会

（新居浜市役所3階 シティプロモーション推進課 ☎ 0897-65-1251 FAX 0897-65-1216）

十河信二と妻キクを主人公とした NHK 朝ドラ誘致推進協議会

NHK連続テレビ小説（朝ドラ）に新幹線を走らせた男「十河信二さん」と彼を支え続けた妻「キクさん」を主人公に夫婦が描く物語の放映を要望します。

	氏名	住所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

個人情報保護法を遵守し、ご提出いただきました署名用紙は厳重に保管し、NHKへの要望の目的以外に、個人情報を利用することは一切ありません。

【記入上の注意】住所、氏名は省略せずに必ずボールペンもしくはサインペンでご記入ください。

- ・署名用紙回収ボックスは、市役所、公民館・交流センター、新居浜市立図書館、新居浜市美術館、ワクリエ新居浜に設置しています。
- ・署名用紙は、市役所シティプロモーション推進課へ郵送または FAX での提出も可能です。

◆十河信二と妻キクを主人公とした NHK 朝ドラ誘致推進協議会

新居浜市役所 3 階 シティプロモーション推進課

(〒792-8585 愛媛県新居浜市一宮町一丁目5番1号 ☎0897-65-1251 FAX0897-65-1216)

※今後、署名用紙の回収窓口を増やしていく予定です。

【歴史年表】

別子銅山関係	西暦(元号)	端出場水力発電所関係
別子銅山開坑	1691 元禄4年	
東延斜坑開さく(1895完成)	1876 明治9年	
ダイナマイト使用実験成功	1880 明治13年	
第一通洞開通	1886 明治19年	
新居浜懸開製錬所が操業開始	1888 明治21年	
岩屑機導入、石ヶ山文~端出場間に高築索道完成	1891 明治24年	
上部鉄道、下部鉄道開通	1893 明治26年	
	1897 明治30年	
第三通洞開通	1902 明治35年	
	1905 明治38年	
日浦通洞開通、第三通洞と繋がる	1911 明治44年	
	1912 明治45年	
第四通洞開通	1915 大正4年	
採鉱本部を東延から東平に移転	1916 大正5年	
	1922 大正11年	
	1923 大正12年	
採鉱本部を東平から端出場に移転	1930 昭和5年	
	1934 昭和9年	
	1953 昭和28年	
大斜坑開さく着手(1969完成)	1960 昭和35年	
	1965~1967 昭和40年~42年	
	1966 昭和41年	
	1970 昭和45年	
別子銅山閉山	1973 昭和48年	
	1977 昭和52年	
	2005 平成17年	
	2010 平成22年	
	2011 平成23年	
	2023 令和5年3月	

【端出場エリア周回コース】



【旧端出場水力発電所 ご利用案内】

- 開館時間 9:00 ~ 17:00
(12月~春休み前 10:00 ~ 17:00)
- 休館日 2月第3週の月曜日から5日間
※その他、都合により臨時休館する場合があります。(HPに掲載)
- 入館料 無料

【旧端出場水力発電所へのアクセス】



- 高速道路・新居浜ICから15分、JR新居浜駅から20分
- 隣接施設 マイントピア別子(道の駅)
- 駐車場 マイントピア別子
※旧端出場水力発電所には駐車できません。
- 住所 愛媛県新居浜市立川町594番地

【お問い合わせ】

- 新居浜市別子銅山文化遺産課
〒792-8585 愛媛県新居浜市一宮町1-5-1
TEL: 0897-65-1236
- マイントピア別子
〒792-0846 愛媛県新居浜市立川町707-3
TEL: 0897-43-1801



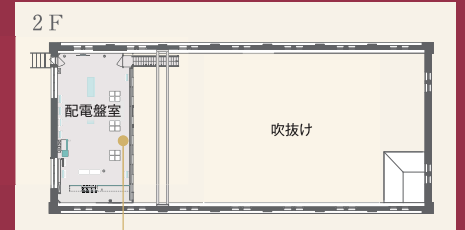
別子銅山の近代化を支えた産業遺産

旧端出場水力発電所

国登録有形文化財



【館内の展示案内】

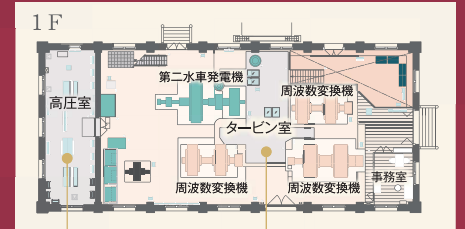


眺望エリア

タービン室全体が見渡せるエリアです。耐震補強工事に関する展示パネルのほか、端出場水力発電所の水路システムの動画、昭和期の写真を収めたデジタルアルバムなどを観ることができます。



眺望エリアからの眺め



歴史エリア

別子銅山の歴史から端出場水力発電所の役割や歴史的意義を知ることができるエリアです。

機械エリア

別子銅山の近代化への水力発電所としての役割や仕組みを知ることができるエリアです。

機械エリアの貴重な機械



発電機



调速機

明治45年当初の発電機2基のうち1基が当時のままの姿で残っています。昭和40年~42年に3基の周波数変換機が設置され、現在の形となりました。地下の水圧鉄管、ベルトン水車、発電機、调速機などの一連の機械が、100余年前の姿で残存していることは大変珍しく貴重です。

【別子銅山の歴史】

別子銅山は、元禄3年(1690)、別子山中における露頭の発見から始まり(露頭とは、地下深くから連なる鉱床が地表に露出しているところ)1691年、江戸幕府により別子銅山稼行が認可されて別子銅山の開坑となりました。元禄4年(1691)の開坑から昭和48年(1973)の閉山まで、283年にわたり住友により経営され、65万トンの銅を産出しました。江戸幕府による長崎貿易の輸出銅を支え、明治以降は近代化によって日本の殖産興業を支え、住友と工業都市新居浜発展の礎となりました。その足跡を示す近代化遺産が広範囲にわたり数多く残されています。



露頭

【旧端出場水力発電所の歴史】

発電所は標高約150mの山中に位置し、足谷川の強固な岩盤の上に建てられました。建物全体がイギリス積み風の煉瓦造で、円窓や半円アーチ窓などのお洒落な造りには花崗岩と煉瓦によってアクセントがつけられています。明治45年(1912)に竣工し、別子銅山の心臓部として近代化を支え、59年間発電を続けてきました。明治後期以降の本格的な電力需要に対応した発電所であり、四阪島製錬所までの送電を行いました。新居浜の住友各社に動力・電力を供給し、現在の瀬戸内工業地帯の礎を築き現代に至ります。

【旧端出場水力発電所 建物概要】

- 所在地 愛媛県新居浜市立川町594
- 所有者 新居浜市
- 構造及び形式 煉瓦造2階建、鉄板葺、建築面積528㎡
- 登録有形文化財 登録年月日 平成23年1月26日(登録番号38-0095)



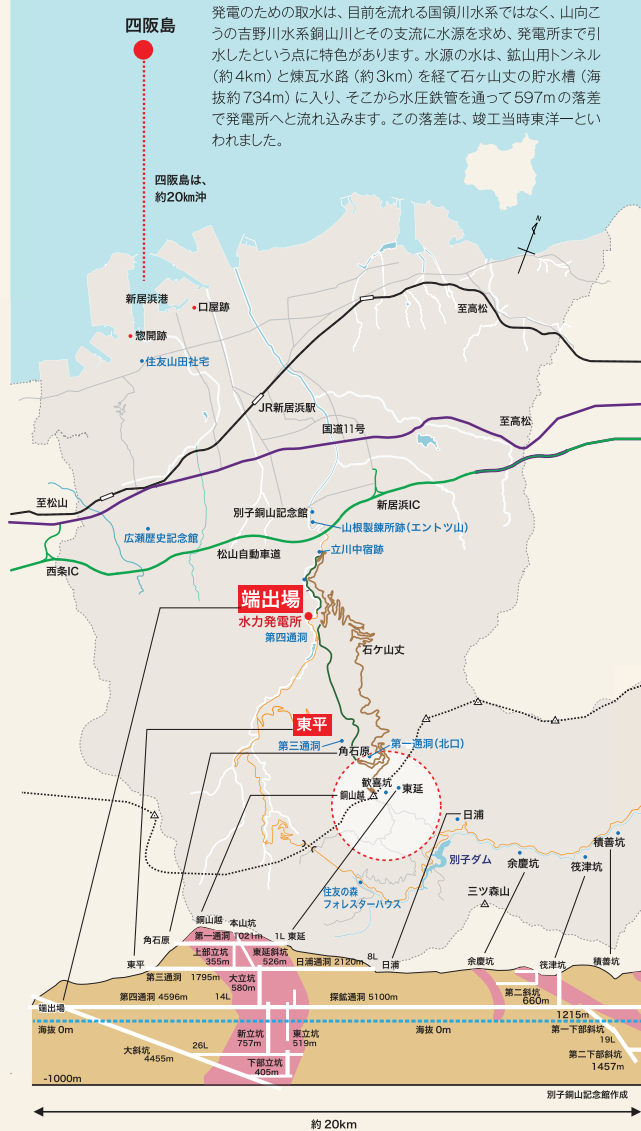
発電所西面(正面向口)

【旧端出場水力発電所 発電機概要】

- 発電方式 水路式
- 水系名 吉野川水系(七番川、日浦谷、大野谷、新山谷、暗り谷)
- 出力 当初3,000kW 最大4,800kW
- 水車 種類 横軸型 出力:1641kW 回転数:600rpm 製造者:ドイツ J.M.VOITH(フォイト)社 製造年:1910年
- 発電機 容量:1,875kVA 周波数:30Hz 製造者:ドイツ SIEMENS-SCHUCKERT WERKE(シーメンス)社 製造年:1910年

【旧端出場水力発電所の特色】

発電のための取水は、目前を流れる国領川水系ではなく、山向こうの吉野川水系銅山川とその支流に水源を求め、発電所まで引水したという点に特色があります。水源の水は、鉱山用トンネル(約4km)と煉瓦水路(約3km)を経て石ヶ山丈の貯水槽(海拔約734m)に入り、そこから水圧鉄管を通過して597mの落差で発電所へと流れ込みます。この落差は、竣工当時東洋一といわれました。



四阪島

四阪島は、約20km沖

【四阪島と海底ケーブル】

別子銅山の歴史は、標高約1,300mの別子山中から、海面下1,000m、瀬戸内海の海上通か20kmの四阪島までにも及ぶ壮大なスケールのものでした。当初、3,000kW(1号機、2号機各1,500kW)で発電を開始した端出場水力発電所は、電力の需要拡大に伴い、大正12年(1923)に1,500kWの3号機が増設され、合計4,500kWの出力となり四阪島送電が実現しました。四阪島までは長さ20kmの海底ケーブルが敷設され、その長さはサンフランシスコ湾に敷設された7マイル(約11km)を抜いて、当時世界最長となりました。



海底ケーブル敷設(昭和17年) 住友共同電力株式会社蔵



四阪島製錬所(明治42年) 住友史料館所蔵

【端出場エリアの施設】

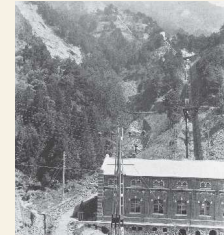
発電所のある端出場エリアには別子銅山の遺構が数多く残っています。別子銅山の最後の採鉱本部跡地には、平成3年(1991)に鉱山観光施設マイントピア別子が開設され、現在は別子銅山観光の拠点となっています。また、国の登録有形文化財である旧別子鉱山鉄道端出場鉄橋、旧別子鉱山鉄道端出場隧道、旧泉寿亭特別室棟なども点在し、旧端出場水力発電所は別子銅山見学における中核施設の一つとなっています。



旧別子鉱山鉄道端出場鉄橋 旧別子鉱山鉄道端出場隧道 旧泉寿亭特別室棟

【水圧鉄管】

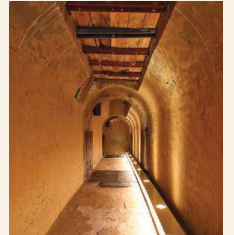
山の斜面に長く設置されていた操業時の鉄管は、すべて撤去されています。現在、鉄管跡に一部のみ鉄管を復元し、見学することができます。



住友史料館所蔵

【放水口】

放水口入り口に整備した見学ステージを通り中に入ることができます。内部では、ベルト水車を見学できるほか、水車が回り出すARコンテンツを楽しむこともできます。



【旧端出場水力発電所の操業当時と今】



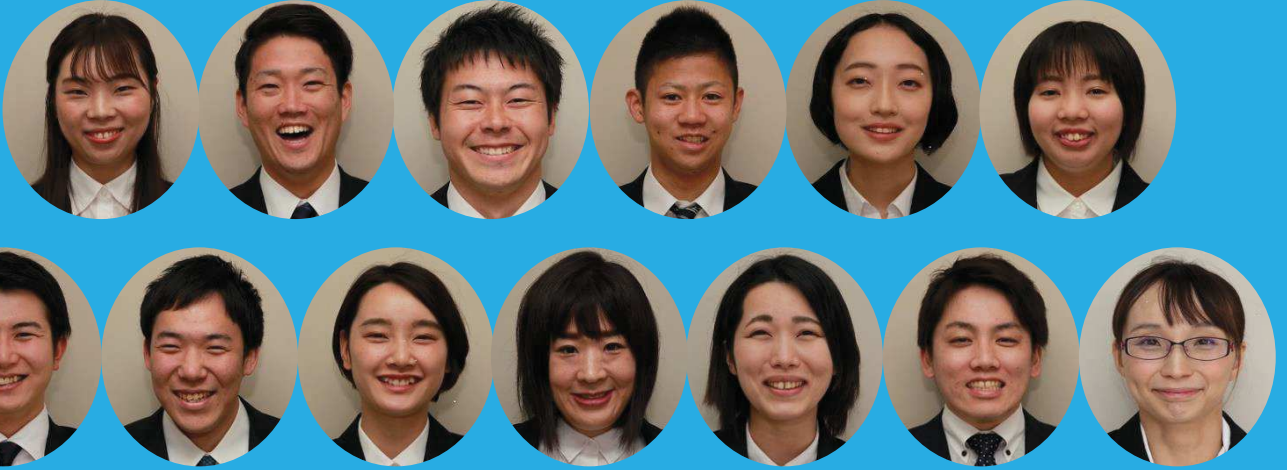
住友史料館所蔵



新

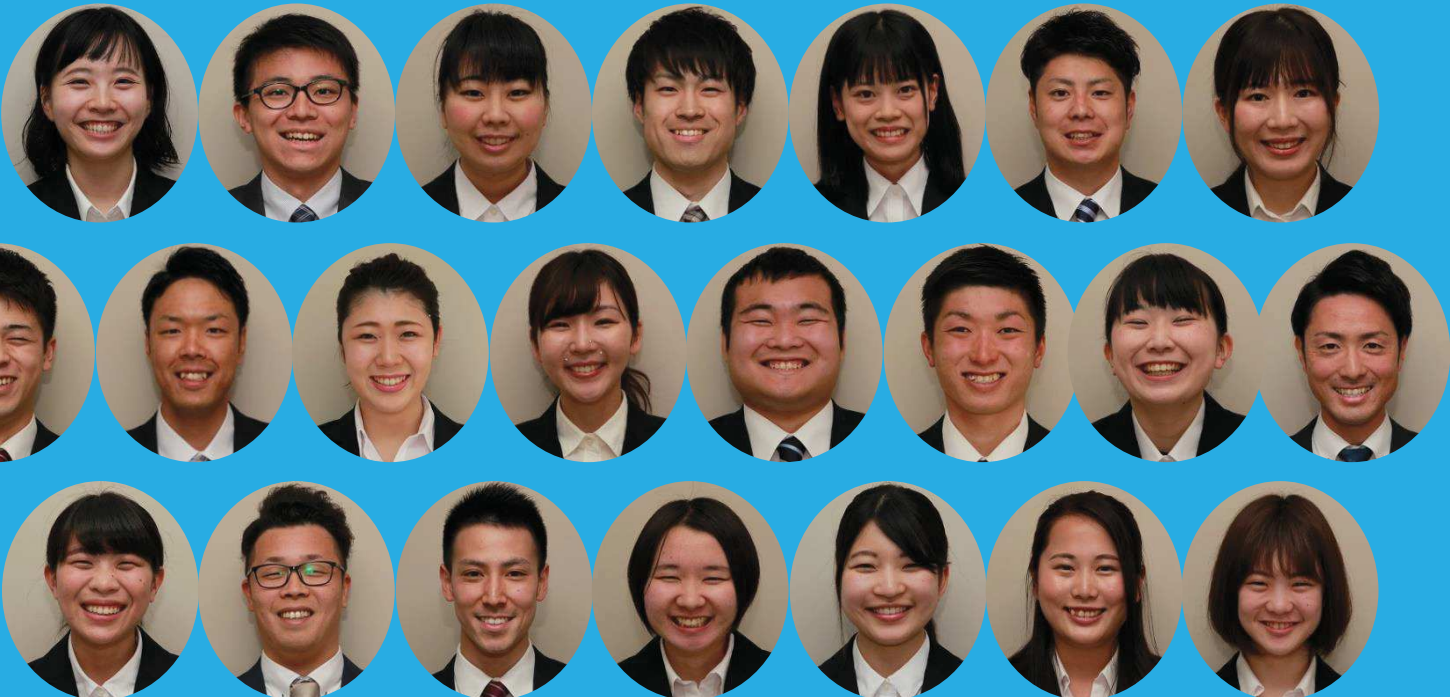
しい力、あなたの元気・やる気・本気で
新居浜市を変える・新居浜市が変わる

居
浜
市
職
員
採
用
試
験
案
内



Hello!
NEW

新居浜





新居浜市が変わる



新居浜市を変える



新居浜市 採用試験

検索

人事課 HP



採用試験に関する案内、応募状況、試験状況、過去の状況等は QR・新居浜市役所人事課のHPをご確認ください。

[https://www.city.niihama.lg.jp/site/saiyou//](https://www.city.niihama.lg.jp/site/saiyou/)

【お問い合わせ】

〒792-8585

愛媛県新居浜市一宮町一丁目5番1号

新居浜市役所 総務部 人事課

TEL : 0897-65-1213

FAX : 0897-65-1216

E-mail : jinji@city.niihama.lg.jp